

講義ユニット名	放射線診断		所属科目名	器官・システム病態制御学Ⅱ
講義ユニット 責任者	あわい かずお 栗井 和夫	所属	放射線診断科 (内線 5257 )	
		メール	awai@hiroshima-u.ac.jp	
講義ユニット コーディネーター	あわい かずお 栗井 和夫	所属	放射線診断科 (内線 5257 )	
		メール	awai@hiroshima-u.ac.jp	
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。			
概要	画像診断では、心臓大血管・呼吸器などの領域別に、代表的疾患あるいは病態について、単純X線写真・CT・MRI・核医学検査等の読影法と鑑別診断の考え方を講義する。インターベンショナルラジオロジー（IVR、画像診断技術を用いた低侵襲治療）では、IVRの基本的な手技およびその理論的背景を概説し、種々の臨床応用について述べる。			
講義ユニットの 到達目標	<p>各疾患・病態に対するエックス線写真・CT・MR・核医学検査の適応が判断できる。 腫瘍の画像診断を概説できる。</p> <p>脳・脊髄系疾患のCT・MRIの基本的な画像所見が読影でき、鑑別が挙げられる。</p> <p>心臓・大血管系疾患の代表的な画像所見が読影でき、鑑別が挙げられる。</p> <p>呼吸器系疾患の代表的な画像所見が読影でき、鑑別が挙げられる。</p> <p>消化器系疾患の代表的な画像所見が読影でき、鑑別が挙げられる。</p> <p>腎・尿路系疾患の画像診断の代表的な画像所見が読影でき、鑑別が挙げられる。</p> <p>男性生殖器（精巣、前立腺）のCT、MRIの代表的な所見が読影でき鑑別が挙げられる。</p> <p>女性骨盤及び後腹膜臓器の代表的な画像所見が読影でき、鑑別が挙げられる。</p> <p>乳房腫瘍の画像診断（乳房撮影、超音波検査、CT）を概説できる。</p> <p>筋骨格系疾患の画像診断（エックス線、MRI、脊髄造影）の適応を概説できる。</p> <p>小児の腫瘍、被虐待児症候群において、画像所見が読影でき、鑑別が挙げられる。</p> <p>画像診断手技を利用した治療（IVR）について説明出来る。</p> <p>代表的なIVR手技について適応が判断出来る。</p>			
講義日程	別紙日程表を参照のこと			
出席の取り扱い	出席状況把握システムあるいは小テスト等により毎講義出席をとる。 3分の2以上の出席がない場合は本試験の受験資格を与えない。			
評価項目	画像に関する基本的な知識（CT値の解釈の仕方、MRI画像の信号特性など）、画像に関連する疾患・病態の知識、それらに応用した論理的な読影能力および疾患の鑑別能力について評価を行う。（基本的理解と知識の応用）			
評価法	MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は60点とする。			
推奨参考書	【購入を推奨する参考書】画像診断パワフルガイド、メディカル・サイエンス・インターナショナル			